

1.17 ひょうご安全の日宣言

阪神・淡路大震災から 18 年が経った
私たちは日本と世界の多くの人たちに
地震を経験する前に この教訓を知ってもらいたい 使ってもらいたい
そのように願って 発信し続けてきた

災害は姿を変えて 私たちと社会を突然襲う
東日本大震災もそうだった
巨大な地震と津波は 私たちに恐怖をもたらし
多くの被災者と傷ついたコミュニティ そして荒ぶる国土を残して去った

1 万 9 千名に及ぶ犠牲者 そのうち 2 千 7 百名は 行方不明のままだ
続いて起こった原子力発電所の事故では
いまだに多くの住民が ふるさとを追われたままだ

阪神・淡路大震災から 120 回を超える被害地震が起こった
もう災害は 起こらないで欲しい
でも 南海トラフ巨大地震や首都直下地震の発生も心配だ
起これば未曾有の被害をもたらすが
その対策に時間がかかり 財源も必要だ

でも 一步ずつ前進したい
減災の考えで 次なる災害に備えたい
それには災害文化をつくり 伝え そして備えて行動するしかない

伝えよう もっと伝えよう阪神・淡路大震災の教訓を
震災の教訓は すべての災害に通じる知恵だから

2013 年 1 月 17 日

ひょうご安全の日推進県民会議